

みんなではまらっせん

2018年度 立教たかたコミュニティ大学 第1回

記憶の継承

入場無料
申込不要

講師

小倉 康嗣 氏

立教大学社会学部准教授

記憶の継承とはなにか。なにを、なんのために継承するのか。広島の高校生が被爆体験証言者と対話を重ね原爆の絵を描く実践から、記憶の継承の根源にあるものについて共に考えたいと思います。

— 原爆体験の継承の現場から
— について考える

会場 **陸前高田グローバルキャンパス
モンティ・ホール他**
〒029-2206 陸前高田市米崎町字神田113番地10

日時 **2018年7月29日(日)**
13:00-17:00

お問い合わせ
立教大学陸前高田サテライト事務局
TEL : 03-3985-4967
MAIL: rikusate@rikkyo.ac.jp

主催：立教大学陸前高田サテライト
共催：陸前高田グローバルキャンパス
後援：陸前高田市・陸前高田市教育委員会

記憶の継承とはなにか。なにを、なんのために継承するのか。広島で10年以上続いている、高校生が被爆体験証言者の原爆体験を対話を重ねながら1年の月日をかけて絵に描いていく実践から考えます。73年前の災禍を経験したことも見たこともない高校生が、なぜ「まさしくこれだ」と被爆者自身が驚くような絵を描けるのか。この実践のプロセスを長年追いかけてきたなかで見えてきたものを読み解きたいと思います。そしてそれを題材に、陸前高田のみなさんと記憶の継承の根源にあるものについて共に考え、意見交換し、それらを共有できるような時間をもちたいと考えています。



小倉 康嗣 ●

立教大学社会学部准教授。1968年生まれ。まわり道のすえ、慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。専攻は社会学・ライフストーリー研究。主な著書に『高齢化社会と日本人の生き方—岐

路に立つ現代中年のライフストーリー』(慶應義塾大学出版会)、『被爆者調査を読む—ヒロシマ・ナガサキの継承』(慶應義塾大学出版会／共著)、『原爆をまなざす人びと—広島平和記念公園8月6日のビジュアル・エスノグラフィ』(新曜社／編著、近刊)など。立教大学社会学部で4年間にわたって開講された授業「震災のフィールドワーク:震災経験のライフストーリーをききとり、記録する」や、震災の年から現在まで続いている東日本大震災RDY(立教生ができることをやろう)支援プロジェクトを担当。

——立教たかたコミュニティ大学とは——

立教大学が主催する市民の皆さま向けのプログラムです。立教ならではの特色あるプログラムを開催していきます。次回の講座は以下の通りです。奮ってご参加ください。
日時：2018年11月4日(日) 13:00~14:40 場所：陸前高田グローバルキャンパス
講座名：正多角形を菱形で埋め尽くす！
講師：青木昇・杉山健一(立教大学理学部教授)